

地鎮祭で安全祈願

米崎町にくらしの保健室

陸前高田市米崎町の松峰地区で11日、今秋に完成予定の「くらしの保健室」朝日のあたる家」の地鎮祭が行われ、地域の新しいコミュニティスペースとして、関係者は工事の安全を祈願した。

「くらしの保健室」の地鎮祭が行われた。地域の新しいコミュニティスペースとして、関係者は工事の安全を祈願した。

地鎮祭はNPO法人福祉フォーラム・東北（中村順子会長）が主催。同法人は同地区に拠点を構え、東日本大震災からの復興活動に取り組んでいる。地元や日本各地の施術者などによって組織され、幅広い世代が安心して暮らせる地域づくりを考察している。

朝日のあたる家は、常駐する保健師や看護師と話をしたり、地域住民がくつろぎの時間を過ごすことができる。コミュニティ施設。70坪ほどの平屋で、地域からの「温かみを感じる木造がいい」という要望を取り入れた。

地鎮祭へは、会員や工事関係者合わせて約20人が参加。同町秋葉神社の本多修宮司によって神事が執り行われ、全員で祭壇に手を合わせた。

長澤茂副会長は「住民の方々に、あって良かったと心から思ってもらえる施設にしたい」と意気込んでいた。

「朝日のあたる家」の地鎮祭が執り行われた。米崎町。

